

電子署名ソフトウェア

MistyGuard®<SignedPDF®>

（ 署名機能限定版 ）

操作説明書

目次

1 章 MistyGuard®<SignedPDF®>署名機能限定版とは.....	1
1. 1 概要	1
1. 2 処理フロー.....	3
1. 3 基本操作	5
2 章 操作説明	7
2. 1 クライアントセットアップ	7
2. 2 署名の実施.....	21
2. 3 その他.....	28
付録.....	1
1. 用語集.....	1
1.1. 用語.....	1
2. メッセージ一覧	4
2.1. メッセージコード仕様.....	4
2.2. メッセージダイアログ表示時の注意点	5
2.3. メッセージ一覧	6

- ★ Adobe® , Adobe ロゴ、Acrobat® は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- ★ Microsoft® , Windows® は 米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ★ Intel® , Pentium® は米国 Intel Corporation の登録商標です。
- ★ MISTY® ,MistyGuard®は三菱電機の登録商標です。
- ★ SignedPDF® は三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社の商標です。
- ★ その他、会社名及び製品名は、各社の商標及び登録商標です。

1 章 MistyGuard®<SignedPDF®>署名機能限定版とは

MistyGuard®<SignedPDF®>署名機能限定版の概要と、処理フローおよび基本操作について説明します。

1. 1 概要

PDF^{(*)1} 電子署名ソフトウェア（以下、SignedPDF 署名機能限定版）は、Adobe Acrobat^{(*)2} グループ製品にアドイン^{(*)3} することで、電子署名機能を付加するソフトウェアです。

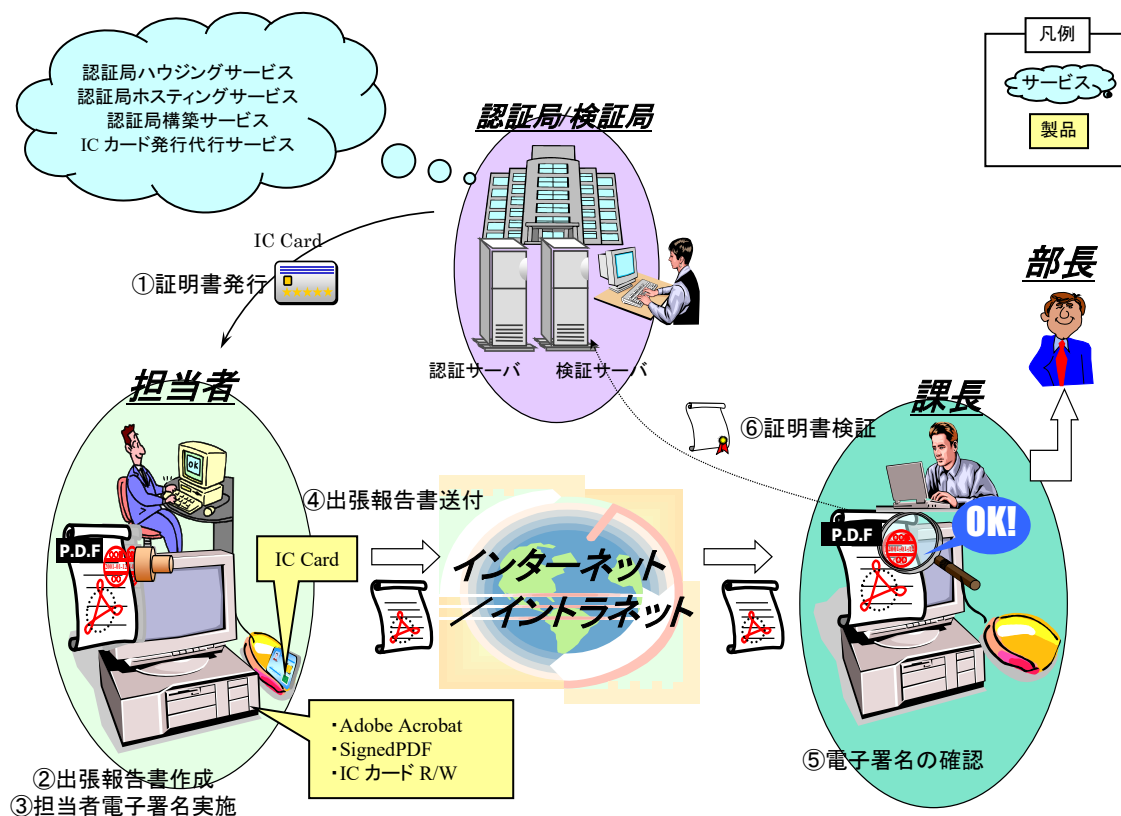
本製品をご使用の場合は、幾つかの制限事項がありますので、「ご使用の手引き」の「6 制限事項」の章を必ずご一読ください。

SignedPDF 署名機能限定版は以下に示す特長があります。

- ① 公的個人認証 IC カード^{(*)4} を使用した電子署名
公的個人認証 IC カードに格納された公的個人認証サービスの電子証明書^{(*)5} を使用した電子署名を行うことが可能です。
- ② 証明書ストア^{(*)6} を利用したセキュア^{(*)7} な電子署名
マシン内の証明書ストアに格納された証明書^{(*)8}・秘密鍵^{(*)9} を使用して署名を行う事で、成りすまし等を防止できる高度なセキュリティレベルを持ちます。
- ③ 違和感のない動的印影^{(*)10} の作成をサポートし、日付印、代印などを実印と同様に PDF 上に表示することができます。
- ④ 各種業界標準をサポート
X.509^{(*)11} 証明書、PDF、PKCS^{(*)12} などの業界標準に対応しています。

(*)1 : 以下、本文中で右上に^(*)1~)が付加された用語については、添付「1. 用語集」にて解説を行なっています。

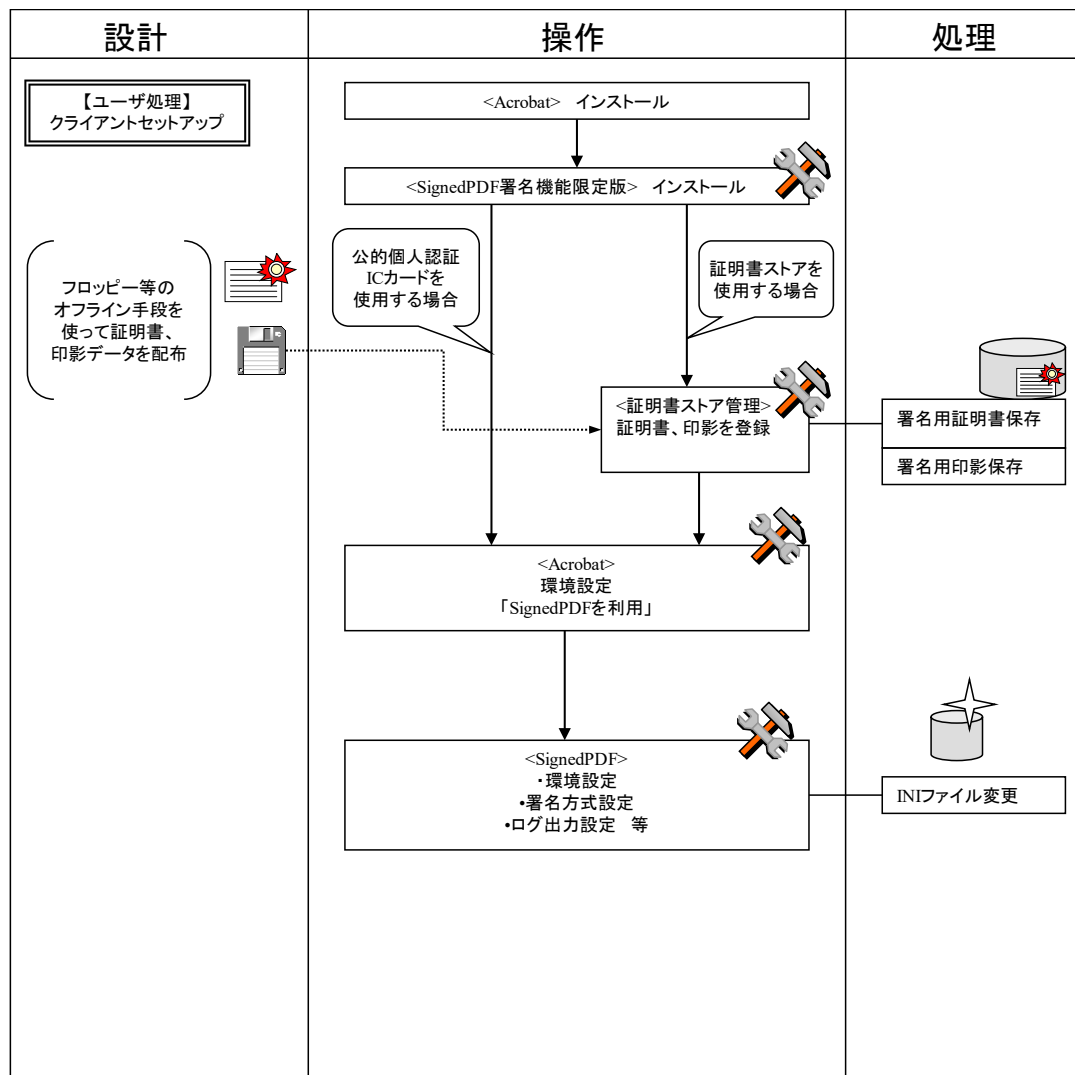
SignedPDF 署名機能限定版を用いたシステムの構築例を以下に示します。
電子証明書を使用したセキュアな電子署名システムの構築が実現可能です。



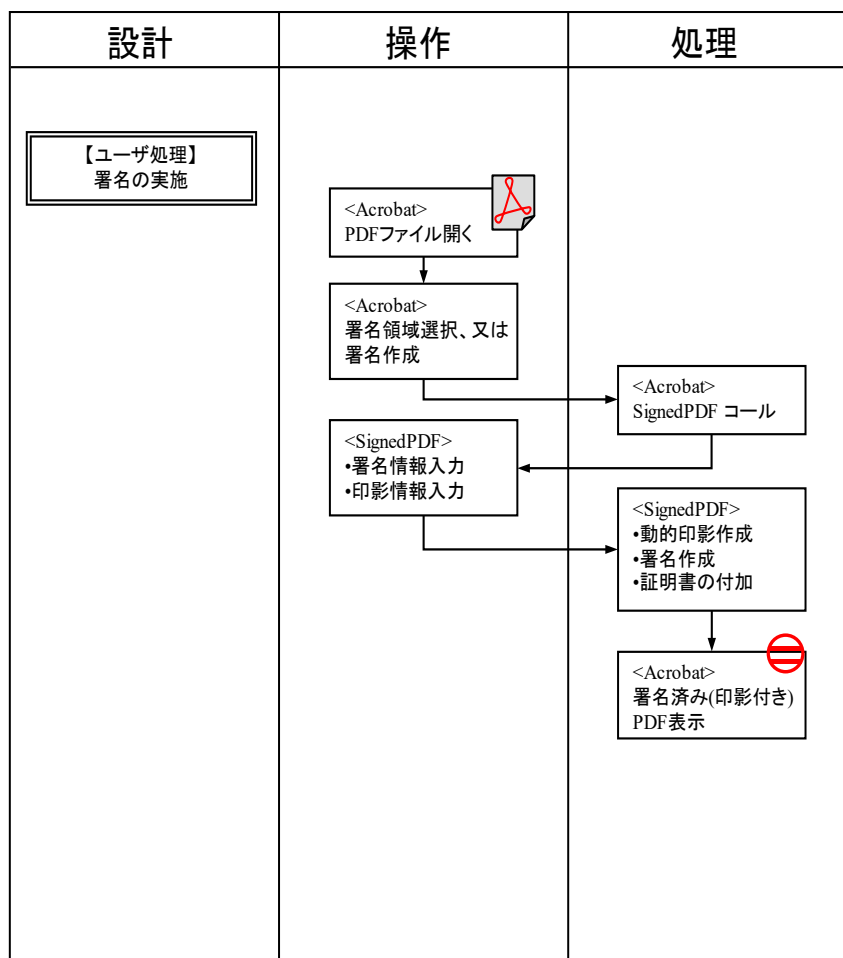
1. 2 処理フロー

SignedPDF 署名機能限定版を利用するユーザの処理フローを示します。

1. 2. 1 クライアントセットアップ



1. 2. 2 署名の実施



1. 3 基本操作

SignedPDF 署名機能限定版の基本操作について説明します。

1. 3. 1 動作要件

対応 OS (*1)	Microsoft® Windows® 8.1 (32 ビット版) 日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 (64 ビット版) 日本語版 Microsoft® Windows® 10 (32 ビット版) 日本語版 Microsoft® Windows® 10 (64 ビット版) 日本語版
対応機種	x86 または x64 プロセッサを搭載した PC/AT 互換 (DOS/V) 機
必要メモリ	使用する OS の推奨値に準ずる
必要ディスク容量	使用する OS の推奨値に準ずる
対応 Adobe 社製品 (*2)	Adobe® Acrobat® Pro DC(32 ビット版)日本語版 Adobe® Acrobat® Standard DC (32 ビット版)日本語版

(*1) Windows® 8.1/Windows® 10 (64 ビット版)は、32 ビット互換モード(WOW64)で動作します。Windows® 8.1 RT/Windows® 10 Education には対応していません。

(*2) Adobe® Acrobat® がサポートしていない OS 上での動作につきましては、動作保証しません。

1. 3. 2 起動／終了手順

(1) 起動

[スタート]メニューから

[Adobe Acrobat Pro DC] もしくは [Adobe Acrobat Standard DC] または
を起動します。

！注意！

Adobe Acrobat の複数のバージョンがインストールされている場合は、最新バージョンの Adobe Acrobat インストールフォルダ先に SignedPDF 署名機能限定版がインストールされています。

(2) 終了

[Adobe Acrobat Pro DC] もしくは [Adobe Acrobat Standard DC] または
を終了させます。

2 章 操作説明

前章で説明した、各処理フローに対する端末操作を説明します。

2. 1 クライアントセットアップ

SignedPDF 署名機能限定版を利用する為に、各ソフトウェアのインストールと環境設定を行います。

(1) SignedPDF 署名機能限定版のインストール

Adobe Acrobat をインストールします。次に、SignedPDF 署名機能限定版をインストールします。

※SignedPDF 署名機能限定版のインストール手順の詳細につきましては、同梱の「ご使用の手引き」をご参照ください。

(2) Acrobat の環境設定

Adobe Acrobat にアドインされた SignedPDF 署名機能限定版を使用する為に、Acrobat での環境設定(電子署名ハンドラ) ^(*15) の変更を行います。

<Acrobat DC の場合>

- ① Acrobat のメニューから[編集(E)] → [環境設定(N)] → [一般(G)]をクリックします。



- ② 環境設定画面が表示されますので、バレット内の[署名]を選択し、電子署名の「作成と表示方法」にある[詳細...]ボタンをクリックします。



- ③ [作成と表示方法の環境設定]画面が表示されます。[デフォルトの署名方法(M)]から[SignedPDF]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



アプリケーションの起動について
環境設定画面の「一般」→「アプリケーションの起動」→「承認されたプラグインのみを使用 (U)」にチェックを入れると、本製品はアプリケーションとして起動できなくなります。

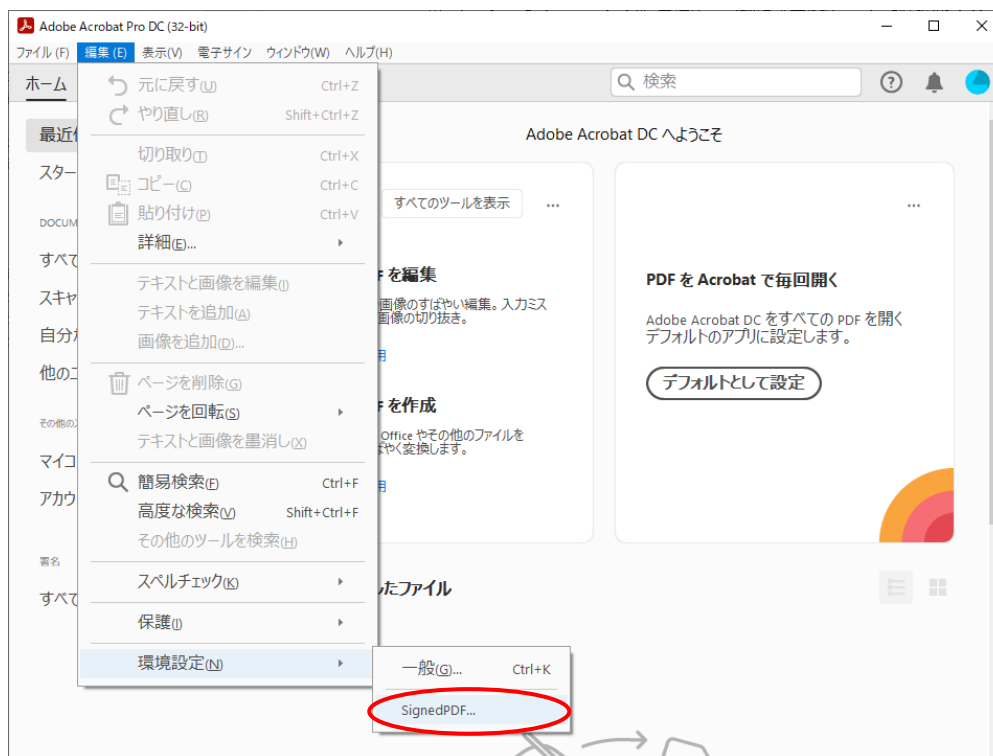
本製品をご使用される場合は、事前に上記項目のチェックが外れていることをご確認ください。

※ 初期設定では、上記項目のチェックは外れています。

(3) SignedPDF 署名機能限定版の環境設定

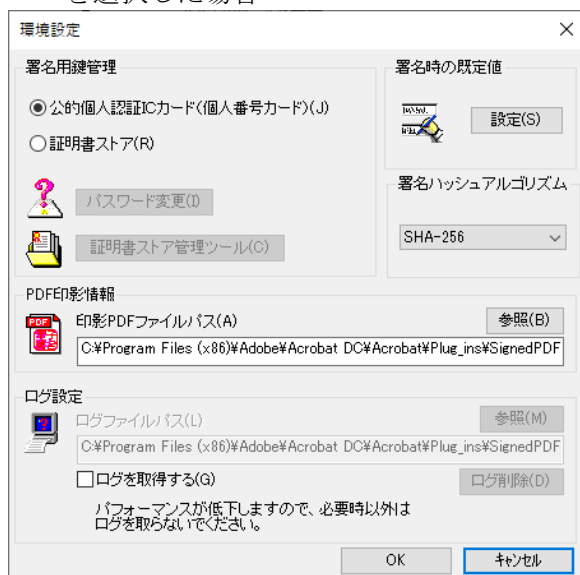
SignedPDF 署名機能限定版の機能を使用する上で、必要な詳細条件を入力する為の環境設定を行います。

- ① Acrobat のメニューから[編集]-[環境設定]-[SignedPDF]をクリックします。

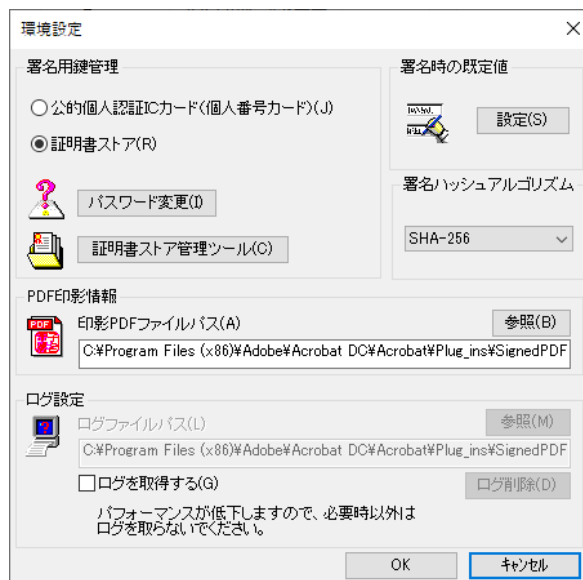


- ② 環境設定の画面が表示されるので、必要項目についての環境値を設定し、
「OK」ボタンをクリックして設定情報を保存します。

(1) 公的個人認証 IC カード(個人番号カード)
を選択した場合



(2) 証明書ストアを選択した場合



以下に各項目の入力条件を示します。

[項目定義]

項目	内容(※1)	長さ制限(※2)	文字種制限
印影 PDF ファイルパス	印影情報を HD 内の PDF ファイルとする時のファイルパス(※3)	256 バイト	任意
ログファイルパス	ログ情報を書き出すファイルパス	256 バイト	任意

(※1) 環境設定画面起動時には、デフォルト値が表示されている。

(※2) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト

(※3) 印影 PDF ファイルパスは入力されていなくてもエラーにはなりません。

尚、SignedPDF 署名機能限定版インストール時に、サンプル印影ファイルとして以下のフォルダに印影 PDF ファイルがインストールされます。

(Adobe Acrobat インストールディレクトリ)\Plug_ins\SignedPDF\Stamp\stamp.pdf

[ボタン定義]

ボタン	内容
「署名用鍵管理」の「パスワード変更」	パスワード変更画面を表示する。
「署名用鍵管理」の「証明書ストア管理ツール」	証明書ストア管理ツールのログオン画面が表示される。
「署名時の既定値」の「設定」	署名情報入力画面[既定値設定]画面を表示する。 パスワードと日時は入力不可。
「印影PDFファイルパス」の「参照」	ファイルパスを設定するファイルダイアログを表示する。
「ログファイルパス」の「参照」	ファイルパスを設定するファイルダイアログを表示する。
「ログファイルパス」の「ログ削除」	ログファイルを削除する。
「OK」	本画面の情報を保存して終了する。
「キャンセル」	本画面を閉じる。

[チェックボタン定義]

チェックボタン	内容
ログを取得する	チェックされた時、指定されたログファイルに対して、トレースログの書き込みが行われる。 チェック無し：ログファイルパスの入力不可 チェック有り：ログファイルパスの入力可能

[ラジオボタン定義]

ラジオボタン	内容
公的個人認証 IC カード (個人番号カード)	選択を行った場合、公的個人認証 IC カード(個人番号カード)内の電子証明書を用いて電子署名を行います。 選択：「パスワード変更」ボタン、「証明書ストア管理ツール」ボタンの押下不可
証明書ストア	選択を行った場合、証明書ストア内の電子証明書を用いて電子署名を行います。 選択：「パスワード変更」ボタン、「証明書ストア管理ツール」ボタンの押下可能

[リストボックス定義]

リストボックス	内容
署名ハッシュアルゴリズム	署名に使用するハッシュアルゴリズムの種別を選択します。 SHA-1：SHA-1 アルゴリズムにて署名する。 SHA-256：SHA-256 アルゴリズムにて署名する。(初期設定値) SHA-384：SHA-384 アルゴリズムにて署名する。 SHA-512：SHA-512 アルゴリズムにて署名する。

[入力エラーチェック]

条件	表示メッセージ
印影 PDF ファイルパス (※)	印影 PDF ファイルパスが指定されていません。 PDF 形式の印影は利用できません。 このままでよろしいですか？
ログファイルパス	ログファイル名を入力してください。

(※) 印影 PDF ファイルパスを入力しなかった場合は、PDF 形式の印影が使用できない旨の警告メッセージを表示する。



環境設定画面において、子画面(証明書ストアのパスワード、署名時の既定値、証明書管理ツール)で内容を更新したのち、親画面(環境設定画面)でキャンセルをしても、子画面の内容は環境設定ファイルに更新されます。

ログ取得 ON の場合、ログを削除した直後に新しく次のログファイルが生成されるので、ログのない状態でも「ログファイルを削除しました。」とのメッセージが表示されます。

③ 環境設定画面内の「署名用鍵管理」の「パスワード変更」をクリックします。

各項目にパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてパスワードを変更します。

以下に各項目の入力条件を示します。

[項目定義]

項目	内容	長さ制限(※)	文字種制限
旧パスワード	証明書ストアの現在のパスワード (PIN) (*14)	32 バイト	半角文字のみ
新パスワード	証明書ストアに設定する新しいパスワード (PIN)	32 バイト	半角文字のみ
新パスワード (再入力)	証明書ストアに設定する新しいパスワードの再入力 (PIN)	32 バイト	半角文字のみ

(※) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト

[ボタン定義]

ボタン	内容
「OK」	本画面の情報を保存して終了する。
「キャンセル」	本画面を閉じる。



注意

パスワード変更画面は「変更する」ために存在します。

従って、新旧同じパスワードを入力しても、新パスワードを変更対象のパスワードとみなすため、「パスワードを変更しました。」のメッセージが表示されます。



注意

パスワードとして使用できる文字は、以下に示す半角文字です。

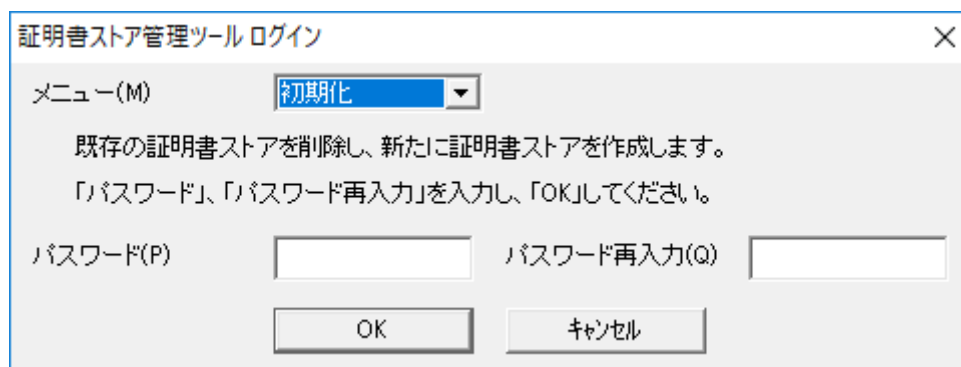
0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
VWXYZ!"#%&'()*+,-./:;<>?[^_}{~

④ 環境設定画面内の「署名用鍵管理」の「証明書ストア管理ツール」をクリックします。

＜メニューで「初期化」を選んだ場合＞

証明書ストアを初期化します。本製品のインストール直後、または証明書ストアの内容をクリアしたい場合に実行します。

各項目に既定値となる必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックして証明書ストア管理ツールを起動させます。以下に各項目の入力条件を示します。



[項目定義]

項目	内容	長さ制限(※)	文字種制限
メニュー	証明書ストアに対する操作方法	「参照」もしくは「初期化」	
パスワード	署名用鍵に設定するパスワード (PIN)	32 バイト	半角文字のみ
パスワード再入力	署名用鍵に設定するパスワードの再入力 (PIN)	32 バイト	半角文字のみ

(※) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト



パスワードとして使用できる文字は、以下に示す半角文字です。
0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
VWXYZ!"#%&'()*+,-./:;<>?[^_{}~

＜メニューで「参照」を選んだ場合＞

既に証明書ストアが初期化されている場合に使用することが出来ます。

各項目に既定値となる必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックして証明書ストア管理ツールを起動させます。以下に各項目の入力条件を示します。

証明書ストア管理ツール ログイン

メニュー(M) 参照

既存の証明書ストアの証明書情報・印影情報を参照します。
「パスワード」を入力し、「OK」してください。

パスワード(P) パスワード再入力(Q)

OK キャンセル

[項目定義]

項目	内容	長さ制限(※)	文字種制限
メニュー	証明書ストアに対する操作方法	「参照」もしくは「初期化」	
パスワード	署名用鍵に設定されているパスワード (PIN)	32 バイト	半角文字のみ

(※) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト

- ⑤ 「証明書ストア管理ツールログイン」でパスワードを入力して **OK** をクリックします。

署名に使用する証明書設定が可能です。

※ 印影情報は使用できません。

[ボタン定義]

ボタン	内容
「証明書情報」の「追加」	PKCS# 1 2 ファイルから署名に使用する証明書を追加します。
「証明書情報」の「削除」	リストに表示されている中から指定した証明書を削除します。
「印影情報」の「追加」	使用できません。
「印影情報」の「削除」	使用できません。
「終了」	本画面を閉じる。

⑥ 「証明書ストア管理ツール」で「証明書情報」の「追加」をクリックします。

必要項目についての環境値を設定し、「インストール」ボタンをクリックして証明書を取り込みます。一度に複数の証明書を取り込むことが可能です。終了する場合は「終了」ボタンをクリックしてください。

以下に各項目の入力条件を示します。

[項目定義]

項目	内容(※1)	長さ制限 (※2)	文字種制限
追加する証明書のファイル名	追加する PKCS # 1 2 形式の証明書のファイル名	256 バイト	任意
追加する証明書のパスワード	証明書ファイルに設定されているパスワード	32 バイト	半角文字のみ

(※) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト

[ボタン定義]

ボタン	内容
「参照」	ファイル名を設定するファイルダイアログを表示する。
「インストール」	PKCS # 1 2 形式の証明書から証明書ストアに証明書をインストールします。
「終了」	証明書インストールを終了する。

- ⑦ 環境設定画面内の「署名時の既定値」の「設定」をクリックします。
- 各項目に既定値となる必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
- 以下に各項目の入力条件を示します。

[項目定義]

項目	内容	長さ制限(※1)	文字種制限
名前	署名を行うユーザの名前	64 バイト	任意
署名地	署名を行った場所	64 バイト	任意
理由	署名理由	64 バイト	任意
使用印影	使用する印影の種類選択(※2)	使用印影で選択できる形式は、PDF 形式印影ファイルのみです。	
印影の色	印影の色を選択(※2)	選択できません。	
印影の上	印影上部に記述される内容(※2)	選択できません。	
印影の下	印影下部に記述される内容(※2)	選択できません。	
形式	印面日時の形式(※2)	選択できません。	

(※1) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト

(※2) この情報は、設定できません。

[ボタン定義]

ボタン	内容
「OK」	本画面の情報を保存して終了する。
「キャンセル」	本画面を閉じる。



コンボボックスで且つ入力可能である「理由」については、
 入力文字制限がありません。このため、内部的に 64 バイトを越えると
 エラーメッセージを出すようにしています。
 その他の項目は入力制限がかかるため、エラーメッセージは表示されません。



印影の大きさは署名エリアに合わせて可変となります。

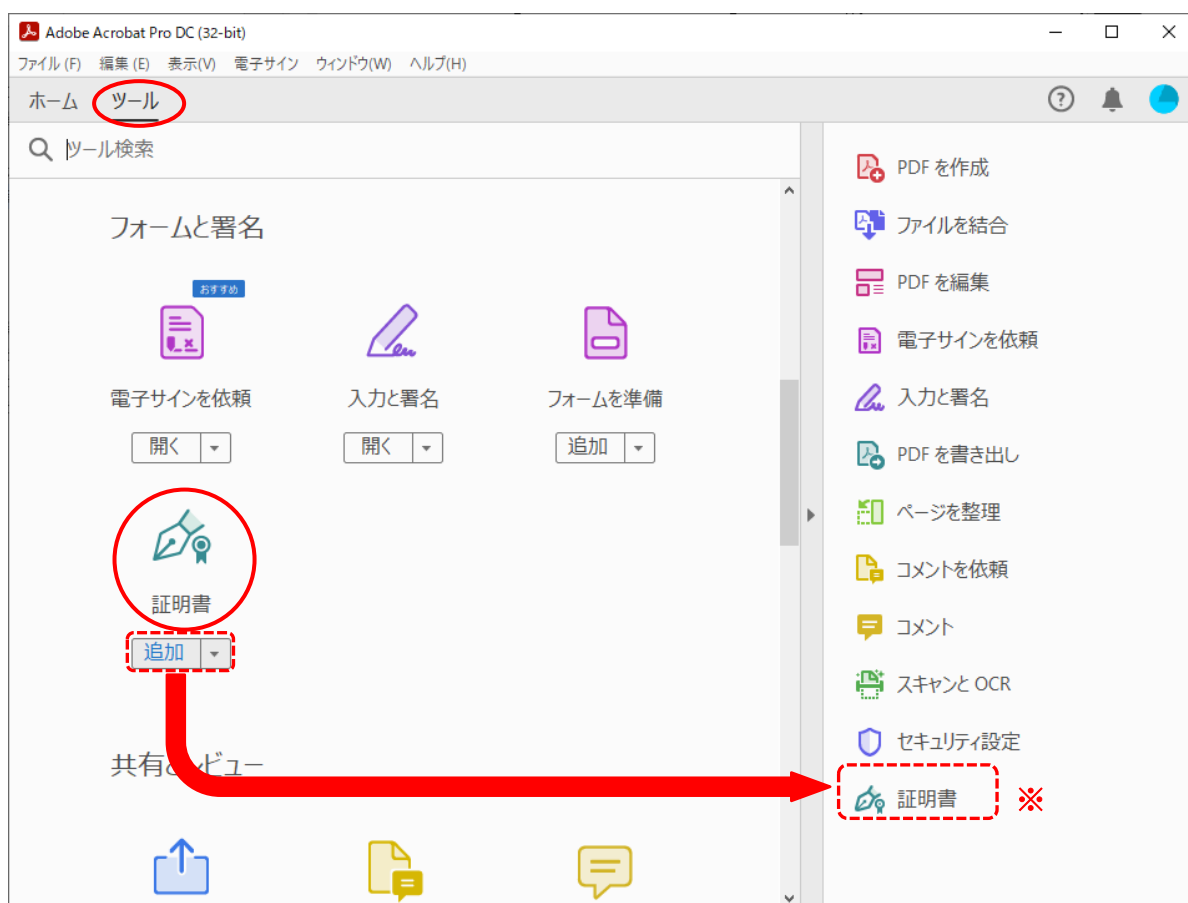
2. 2 署名の実施

署名を行う際、署名に必要な情報を署名者情報入力画面から入力します。

(1) 署名領域の指定

<Acrobat DC の場合>

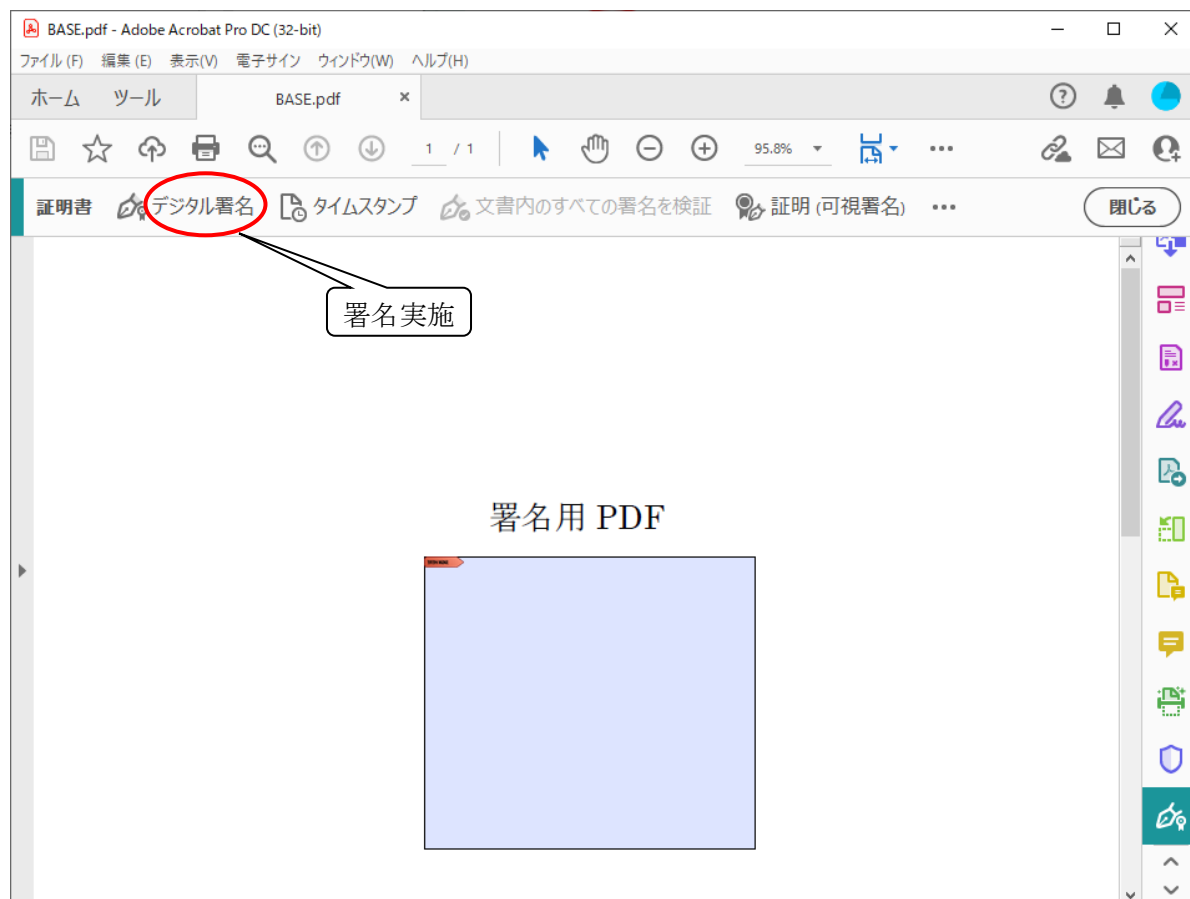
- ① メニューアイコンの「ツール」を選択してツールセンターを表示し、「証明書」アイコンをクリックします。



※ ツールセンターの証明書アイコン下の「追加」を選択することで、パネルウインドウ内にショートカットを作成することが可能です。

②証明書メニューバーの「デジタル署名」をクリックし、ドラッグして領域を指定します。新たな署名領域を作成し、署名を行います。

※ 既存の署名領域がある場合は、署名領域をクリックすることにより署名が可能です。



(2) 署名情報の入力

- ①「署名者情報入力画面」が表示されるので、名前、パスワード等必要な情報を入力し、「OK」ボタンをクリックして署名を行います。

以下に各項目の入力条件を示します。

[項目定義]

項目	内容	長さ制限(※1)	文字種制限	必須(※2)
名前	署名を行うユーザの名前	64 バイト	任意	
パスワード	証明書ストアのパスワード	32 バイト	半角文字のみ	○
署名地	署名を行った場所	64 バイト	任意	
理由	署名理由	64 バイト	任意	
使用印影(※3)	使用する印影の種類選択	使用印影で選択できる形式は、PDF 形式印影ファイルのみです。		
印影の色	印影の色を選択	選択できません。		
印影の上(※3)	印影上部に記述される内容	選択できません。		
印影の下(※3)	印影下部に記述される内容	選択できません。		
形式(※3)	印面日時の形式	選択できません。		
日時(※3)	署名する日時	選択できません。		

(※1) 全角 1 文字 2 バイト、半角 1 文字 1 バイト

(※2) 入力が必要な項目に「○」を示す

(※3) この情報は、設定できません。

[ボタン定義]

ボタン	内容
「OK」	署名を実行して本画面を終了する。
「キャンセル」	署名をしないで本画面を終了する。

証明書ストアに複数の証明書が存在する場合は、証明書の選択画面が表示されます。

証明書選択

証明書一覧(L)

所有者名	発行者名	シリアルNo	発行日付	有効期限
CN=testEE 01_sha2O...	OU=CA1;O=DemoMin...	5475cf56	2014.11.28 1...	2019.11.27 2...
CN=testEE 03_sha2O...	OU=CA1;O=DemoMin...	5475cf57	2014.11.28 1...	2019.11.27 2...

使用する証明書を選択してください。

OK

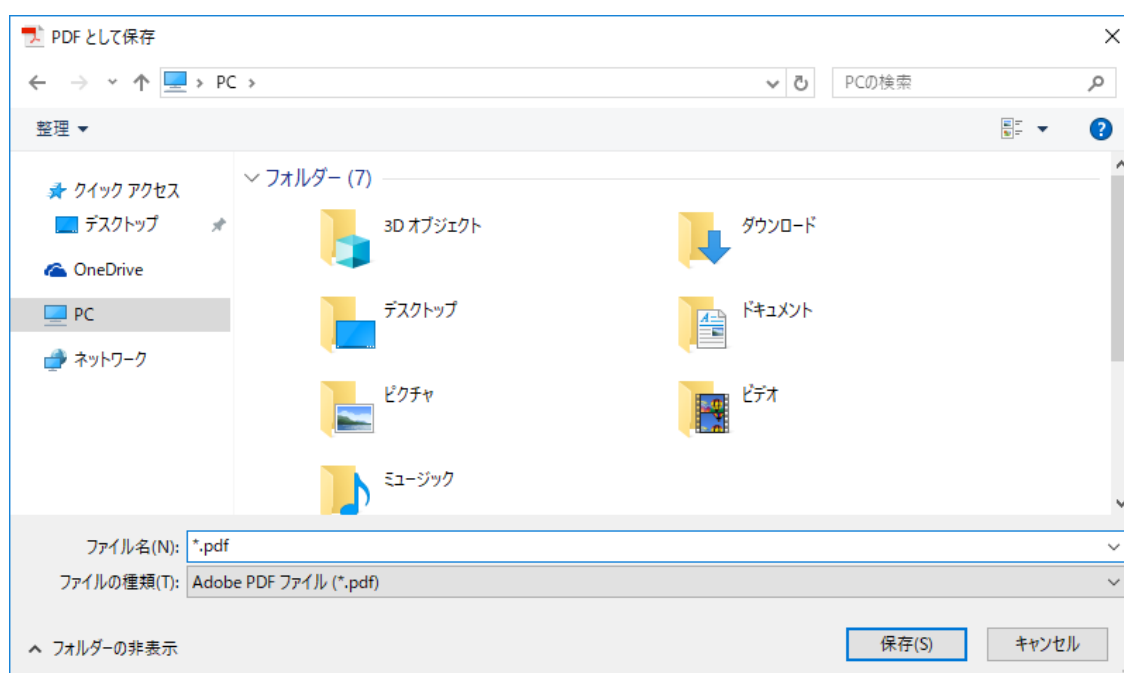
[ボタン定義]

ボタン	内容
「OK」	証明書を選択し、本画面を終了する。

(3) 署名

署名が正常に終了すると、選択した印影が画面に表示されます。

(例)



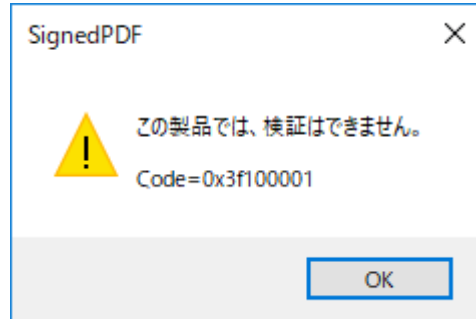
1 回目の署名時は、上記保存ダイアログが表示されますが、以降同じ文書への署名時にはこのダイアログは表示されません。

また、あらかじめ署名エリアを指定した署名エリアに、署名を行った場合は、1 回目の署名時でも保存ダイアログは表示されません。

署名したときにディスクに保存されるため、上書き保存はできませんが、Acrobat® の仕様です。



Acrobat では、署名と検証が同時に行われますが、本製品では検証機能がありませんので以下の画面が表示されます。



公的個人認証 IC カード内の電子証明書を用いて電子署名を行なう場合、1 回目の署名に多少、時間を要することがあります。ご注意ください。



公的個人認証 IC カード内の電子証明書を用いて電子署名を行なう場合、必ず PDF 形式の印影を用いて電子署名を行ってください。



証明書ストア内の印影を選択した場合、署名エリアが印影より小さいと印影が署名エリアに合わせて切れてしまいますので、エリアの大きさにご注意ください。

また、本製品では検証機能がありませんので、「署名の検証」や「署名のプロパティ」を実行することが出来ません。



PDF/A 形式 PDF の既存の署名フィールドに対して、左クリックで署名することができません。右クリックで署名を行ってください。

2. 3 その他

アドインされた SignedPDF 署名機能限定版のバージョン情報を画面より確認できます。

(1) バージョン情報

- ① Acrobat の[ヘルプ]-[サードパーティのプラグインについて]-[SignedPDF プラグインのバージョン情報]をクリックします。

SignedPDF 署名機能限定版のバージョン情報画面が表示されます。



[ボタン定義]

ボタン	内容
「OK」	本画面を終了します。

付録

1. 用語集
2. メッセージ一覧

1. 用語集

本文中の(＊)で記した用語について解説します。

1.1. 用語

No.1 PDF

Portable Document Format (PDF). Adobe® Acrobat®で用いられるファイルフォーマット。Windows、UNIX、Macintoshなどのプラットフォームに依存しないデータフォーマットで、現在の電子ドキュメントの標準となっている。

No.2 Adobe® Acrobat®

Adobe® PDF (Portable Document Format)をベースにした電子フォームや承認ワークフローのシステムでの利用を目的としたクライアントソフト。

No.3 アドイン

あるアプリケーションに特定の機能を追加するプログラム、またはその行為。「プラグイン」などともいう。

No.4 公的個人認証 IC カード

公的個人認証サービスで利用できる IC カード^(＊13)。
個人番号カードがこれにあたる。

No.5 公的個人認証サービスの電子証明書

都道府県知事が発行する、利用者が電子申請などを行う際の電子署名に利用する電子証明書。

No.6 証明書ストア

マシン内に仮想的な IC カードを設定することで、公的個人認証 IC カードと同様な動作をする事が出来る。そのため、IC カードリーダーライターや公的個人認証 IC カードを使用することなく電子署名を実施することが可能である。

No.7 セキュア

保証された。安全な。確実な。大丈夫な。しっかりした。厳重に監禁した。

No.8 証明書

個人を識別するデジタル証明書。個人の身元やインターネット上の電子資産を証明するために使用されるデータファイル。証明書は実世界における印鑑証明書に例えることが多い。証明書には X.509 で定義された、本人情報(所属組織、識別名、名前等)、公開鍵、有効期限、シリアルナンバ、シグネチャ等が含まれている。証明書は、認証局(CA)と呼ばれる、信頼できる第三者により発行される。

No.9 秘密鍵

対になる 2 つの鍵を使ってデータの暗号化・復号化を行う暗号方式(公開鍵暗号方式)を使用する際に必要となる鍵のひとつ。公開鍵暗号方式では、「暗号文を作り出す鍵」と「暗号文を元に戻す鍵」が必要となり、これをそれぞれ「公開鍵」「秘密鍵」と呼ぶ。「公開鍵」は通信相手に知らせる鍵としてインターネット上でもやり取りできる。だれでも、この鍵で暗号文を作成でき、鍵を公開している人に送る事ができる。暗号文の受け手は、公開鍵とペアとなっている秘密鍵で復号する。「秘密鍵」は、本人だけが分かるように厳重に管理されている。秘密鍵を用いる公開鍵暗号方式は、鍵を安全な経路で輸送する必要がないことや、相手の数に関係なく公開鍵は 1 つでよい事など、鍵の管理が容易で安全性が高い。また、デジタル署名を容易に実現でき、送信者が通信の事実を後で否認する、他人が偽造する事を不可能にするデータ転送が可能になる。

No.10 印影

紙などに印を押したあと。本システムでは電子ファイルに印を押したあと。本文の「2.2 (3) 署名」の(例)(→P26)を参照。

No.11 X.509

ITU-T(通信関連の標準化を定める国際機関)で規定されている公開鍵証明書のフォーマット。X.509 の標準では、証明書に含まれる情報が定義され、その記述方法 (データ形式) も記述されている。X.509 に準拠する証明書はすべて、署名のほかに、バージョン、シリアル番号、署名アルゴリズム識別子、発行者名、有効期間、被認証者、被認証者の公開鍵情報といったデータを含んでいる。

No.12 PKCS

Public Key Cryptography Standard (PKCS). RSA Data Security 社が定めた公開鍵暗号技術に関する規約群。その一部はインターネット標準となっている。PKCS には PKCS#1 から PPKCS#15 まで 15 の規約がある。

No.13 IC カード

Integrated Circuit Card (IC カード). キャッシュカード大のプラスチック製カードに極めて薄い半導体集積回路(IC チップ)を埋め込み、情報を記録できるようにしたカード。磁気カードに比べてアクセススピード、耐衝撃性や耐磁気性、信頼性、低消費電力などの点で優れ、さらにデータの暗号化も可能なため偽造にも強い。外部記憶装置として使用される。

No.14 PIN

個人識別番号(Personal Identification Number)のこと。ここでは IC カードのパスワード、識別番号の意味で使用。

No.15 電子署名ハンドラ

Adobe® Acrobat®での電子署名 Plug_in のこと。

2. メッセージ一覧

2.1. メッセージコード仕様

メッセージコードは 32 ビット unsigned long 形式です。

表記・表示については、16 進形式 8 桁で行います。

以下に、モジュールとメッセージコードの対応表を示します。

区分	モジュール	メッセージコード
SignedPDF 署名機能限定版 セットアップ	環境設定ファイル関係	11*****
	印影パスワード変更関連	1101****
	証明書ツール GUI 関係	12*****
	その他セットアップ	1F*****
SignedPDF 署名機能限定版 署名	署名情報入力 GUI 関係	21*****
	印影取得関係(PKCS#11/PDF ファイル)	22*****
	印影処理関係(シヤチハタ Lib など)	23*****
	署名作成 DLL 関係	24*****
	その他署名	2F*****
SignedPDF 署名機能限定版 その他		40*****
		50*****
その他		FF*****

また、メッセージコードの先頭には、以下に示す種別文字を付加する為、メッセージコードよりメッセージの種別が判別できます。

種別文字	メッセージ種別
X	エラーメッセージ
W	ワーニングメッセージ
I	インフォメーションメッセージ

2.2. メッセージダイアログ表示時の注意点

エラーの発生個所により、必要と思われるエラーメッセージは全て表示しています。かつ、Acrobat がメッセージを表示することもあり、一つのエラー処理に対してメッセージダイアログが複数表示される場合があります。

尚、Signed PDF 署名機能限定版が表示するメッセージには、全てメッセージコードが付加しています。

メッセージコードの表示が無いメッセージは、Acrobat が表示しているメッセージです。

2.3. メッセージ一覧

以下に、メッセージの一覧を示します。

2.3.1. SignedPDF 署名機能限定版 セットアップ

NO	メッセージコード	メッセージ内容	原因
1	W11000001	ログファイルが削除できません。ファイルのアクセス権を確認してください。	対象のログファイルに書き込みアクセス権がないようです。
2	W11000002	ログファイルが存在しません。削除できませんでした。	対象のログファイルは存在しません。
3	I11000003	ログファイルを削除しました。新たにログファイルが生成されます。	ログファイルを削除し、新たに最小のログファイルを生成し直しました。
4	X11000009	外部プログラムの起動に失敗しました。インストールが正常に行なわれていない可能性があります。	証明書管理ツールまたは証明書ストア変更プログラムの起動に失敗しました。
5	W11000012	環境設定内容が正常に保存できませんでした。	ディスクフル等の要因が考えられます。
6	W11000013	名前が長すぎます。	「名前」の項目に制限値(64 バイト)を超える文字が入力されています。
7	W11000014	署名地が長すぎます。	「署名地」の項目に制限値(64 バイト)を超える文字が入力されています。
8	W11000015	署名理由が長すぎます。	「署名理由」の項目に制限値(64 バイト)を超える文字が入力されています。
9	W11000016	印影の上の文字列が長すぎます。	「印影の上」の項目に制限値(64 バイト)を超える文字が入力されています。
10	W11000017	印影の下文字列が長すぎます。	「印影の下」の項目に制限値(64 バイト)を超える文字が入力されています。
11	W11000018	パスワードが長すぎます。	入力されたパスワードが制限値(32 バイト)を超えています。

12	X11000019	検証用証明書フォルダのパス設定ができません。証明書ツールを起動できませんでした。	ディスクフル等の要因が考えられます。
13	W1100001A	指定されたファイルはパス名が長すぎます。ファイルを別の場所に移動するか、短い名前に変更してから指定し直してください。	ファイルのフルパス名が 256 バイトを超えるファイルを指定しました。
14	W1100001B	指定されたフォルダはパス名が長すぎます。フォルダを別の場所に移動するか、短い名前に変更してから指定し直してください。	「証明書フォルダパス」の項目に制限値(243 バイト)を超える文字が入力されています。
15	X110000FF	メモリが不足しています。	メモリ不足の可能性があります。
16	W11010001	新パスワードに利用できない文字が含まれています。	新パスワードに利用できない文字が含まれています。
17	W11010002	新パスワードが再入力と一致していません。	新パスワードと再入力とで異なる値が入力されています。
18	X11010003	パスワードが変更できません。ライブラリが正しくセットアップされているか確認してください。	IC カードアクセストライバ、もしくは証明書ストアアクセストライバが正常にインストールされていません。
19	X11010004	パスワードが変更できません。正しいライブラリをセットアップしているか確認してください。	IC カードアクセストライバ、もしくは証明書ストアアクセストライバが異常です。
20	X11010005	パスワードが変更できません。メモリ不足の可能性があります。	IC カードアクセストライバ、もしくは証明書ストアアクセストライバが異常です。
21	X11010006	パスワードが変更できません。メモリ不足の可能性があります。	IC カードアクセストライバ、もしくは証明書ストアアクセストライバが異常です。

22	X11010007	パスワードが変更できません。スロット情報が取得できませんでした。ライブラリや IC カードリーダーライターが正しくセットアップされているか確認してください。	IC カードアクセスドライバ、もしくは証明書ストアアクセスドライバが異常です。
23	X11010008	パスワードが変更できません。接続できませんでした。	証明書ストアに異常があるか、IC カードがリーダーライターに正しくセットされていません。
24	W11010009	パスワードが変更できません。旧パスワードが正しいか確認してください。	旧パスワードの入力が使用していたパスワードと一致していません。
25	X1101000A	パスワードが変更できません。指定された文字種・長さの新パスワードへの変更は許されていない可能性があります。違うパスワードを試してみてください。	IC カード、もしくは証明書ストアが壊れている可能性があります。
26	I1101000B	パスワードを正常に変更しました。	—
27	W1101000C	旧パスワードを入力してください。	旧パスワードが入力されていません。
28	W1101000D	新パスワードを入力してください。	新パスワードが入力されていません。
29	W1101000E	新パスワード(再入力)を入力してください。	新パスワード(再入力)が入力されていません。
30	X1101000F	パスワードが変更できません。環境設定ファイルが壊れているか、アクセスできません。	環境設定ファイルが壊れています。
31	X12000000	処理途中でエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
32	X12000001	メモリの確保に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
33	X12000002	指定された証明書ファイルが開けません。証明書ファイルの存在を確認してください。	ファイルを開けません。

34	X12000003	指定された証明書ファイルが読み取れません。証明書ファイルのアクセス権を確認してください。	ファイルを読み込めません。
35	X12000004	指定された証明書の解析に失敗しました。証明書が壊れている可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
36	X12000005	指定された証明書の解析に失敗しました。証明書がセルフサインかどうか判定できません。	メモリ不足の可能性があります。
37	X12000006	指定された証明書の追加に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
38	X12000007	指定されたセルフサイン証明書の追加に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
39	X12000008	指定された証明書の追加途中にエラーが発生しました。メモリ解放エラーです。	メモリ不足の可能性があります。
40	X12000009	証明書追加先の確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
41	X12000010	証明書追加先の初期化に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
42	X12000011	検証用証明書フォルダに移動できません。フォルダパスが正しいかどうか、アクセス権があるかどうか確認してください。	ディレクトリの移動に失敗しています。
43	X12000012	ライブラリの初期化に失敗しました。ライブラリが正しくセットアップされているか確認してください。	IC カードドライバ、もしくは証明書ストアドライバのロードに失敗しています。
44	X12000013	ライブラリの初期化に失敗しました。ライブラリが正しくセットアップされているか確認してください。	IC カードドライバ、証明書ストアドライバのロードに失敗しています。

45	X12000014	アクセスの準備中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
46	X12000015	アクセスの準備中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
47	X12000016	アクセスの準備中にエラーが発生しました。スロット情報が取得できません。ライブラリや IC カードリーダーライターが正しくセットアップされているか確認してください。	メモリ不足の可能性があります。
48	X12000017	IC カードとの接続に失敗しました。IC カードが正しく挿入されているか確認してください。	IC カードとの接続に失敗しています。
49	X12000018	IC カードのログインに失敗しました。パスワードが正しいか確認してください。	IC カードのパスワードが違います。
50	X12000019	証明書追加先のメモリ確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
51	X12000020	証明書追加先の初期化に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
52	X12000021	証明書が取得できません。	メモリ不足の可能性があります。
53	X12000022	証明書のセルフサインの判定に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
54	X12000023	証明書追加先への証明書コピーに失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
55	X12000024	証明書が取得できません。	メモリ不足の可能性があります。
56	X12000025	アクセス終了時にエラーが発生しました。証明書アクセス情報メモリの解放エラーです。	メモリ不足の可能性があります。

57	X12000026	アクセス終了時にエラーが発生しました。アクセス情報メモリの解放エラーです。	メモリ不足の可能性があります。
58	X12000027	アクセス終了時にエラーが発生しました。ライブラリのメモリ解放エラーです。	メモリ不足の可能性があります。
59	X12000028	指定された証明書ファイルのあるフォルダにアクセスできません。	追加する証明書のディレクトリが存在しない可能性があります。
60	X12000029	指定された証明書ファイルが存在しないか、無効なファイル名です。	追加する証明書が存在しない可能性があります。
61	X12000030	指定された証明書ファイルの読み込みに失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
62	X12000031	証明書ファイルの取得先メモリが確保できませんでした。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
63	X12000032	指定された証明書ファイルが開けません。ファイルパスを確認してください。	ファイルを開けません。
64	X12000033	指定された証明書ファイルの読み込みに失敗しました。ファイルのアクセス権を確認してください。	ファイルを読み込めません。
65	X12000034	指定された証明書ファイルが読み取れません。証明書でないファイルを指定されたか、ファイルが壊れている可能性があります。	指定した証明書ファイルが壊れている可能性があります。
66	X12000035	指定された証明書ファイルが読み取れません。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
67	X12000036	指定された証明書ファイルのセルフサインの判定に失敗しました。証明書ファイルが壊れている可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
68	X12000037	指定された証明書の追加に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。

69	X12000038	指定されたセルフサイン証明書の追加に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
70	X12000039	削除する証明書の検索中にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
71	X12000040	指定された証明書の削除に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
72	X12000041	削除する証明書の検索中にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
73	X12000042	検証用証明書フォルダに移動できません。フォルダパスが正しいかどうか、アクセス権があるかどうか確認してください。	ディレクトリの移動に失敗しています。
74	X12000043	証明書一覧作成途中にエラーが発生しました。証明書が取得できません。	メモリ不足の可能性があります。
75	X12000044	証明書一覧作成途中にエラーが発生しました。証明書所有者名の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
76	X12000045	証明書一覧作成途中にエラーが発生しました。証明書所有者名の変換に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
77	X12000046	証明書一覧作成途中にエラーが発生しました。証明書発行者名の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
78	X12000047	証明書一覧作成途中にエラーが発生しました。証明書発行者名の変換に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
79	X12000048	証明書一覧作成途中にエラーが発生しました。証明書発行日付の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。

80	X12000049	ログインに失敗しました。パスワードが正しいか確認してください。	ICカード、もしくは証明書ストアのパスワードが違う可能性があります。
81	X12000050	証明書の追加に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
82	X12000051	ファイルからの証明書の追加に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
83	X12000052	証明書の削除に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
84	X12000053	証明書の更新に失敗しました。一部の証明書は利用できない可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
85	I12000054	この証明書は既に登録されています。	—
86	X12000055	証明書フォルダが存在しません。	証明書フォルダが存在しません。
87	X12000056	画面の初期化に失敗しました。既にインストール済みの証明書に問題があるかもしれません。	メモリ不足の可能性があります。
88	I12000057	削除する証明書が選択されていません。	—
89	I12000058	パスワードを入力して下さい。	—
90	I12000059	ファイル名を入力して下さい。	—
91	I12000060	ファイルが存在しません。	—
92	X12000061	証明書ファイルパスが長すぎます。	「証明書フォルダパス」の項目に制限値(243バイト)を超える文字が入力されています。
93	I12000062	同じ内容の証明書が複数個指定されました。まとめて一つの証明書として表示されます。	—
94	W12000063	選択ファイル数が多すぎます。数回に分けて選択してください。	「証明書フォルダパス」の項目に制限値(243バイト)を超える文字が入力されています。

2.3.2. SignedPDF 署名機能限定版 署名

NO	エラー番号	エラー内容	原因
1	X21010001	パスワードを入力してください。	署名時に必須入力であるパスワードが入力されていません。
2	X21010002	理由が 64 バイトを超えています。64 バイト以下に切り詰めます。	「理由」が 64 バイト以上入力されました。
3	X22000000	印影が取得できません。環境設定ファイルからライブラリ情報が取得できませんでした。	SignedPDF が正しくインストールされていない可能性があります。
4	X22000001	印影が取得できません。ライブラリの読み込みに失敗しました。ライブラリが正しくセットアップされているか確認してください。	SignedPDF が正しくインストールされていない可能性があります。
5	X22000002	印影が取得できません。ライブラリが不正です。正しいライブラリをセットアップしているか確認してください。	SignedPDF が正しくインストールされていない可能性があります。
6	X22000003	印影が取得できません。ライブラリが不正です。正しいライブラリをセットアップしているか確認してください。	SignedPDF が正しくインストールされていない可能性があります。
7	X22000004	印影が取得できません。IC カードの初期化に失敗しました。	SignedPDF が正しくインストールされていない可能性があります。
8	X22000005	印影が取得できません。IC カードスロットの取得に失敗しました。	SignedPDF が正しくインストールされていない可能性があります。
9	X22000006	印影が取得できません。IC カードとの接続に失敗しました。IC カードが正しく挿入されているか確認してください。	ICカードがリーダライタに正しくセットされていません。

10	X22000007	印影が取得できません。IC カードへのログインに失敗しました。パスワードが正しいかどうか確認してください。	ICカードのパスワードが違います。
11	X22000008	印影が取得できません。印影の検索開始時にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
12	X22000009	印影が取得できません。指定された印影はインストールされていません。	メモリ不足の可能性があります。
13	X22000010	印影が取得できません。印影取得処理の終了時にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
14	X22000011	印影が取得できません。印影情報が取得できませんでした。	メモリ不足の可能性があります。
15	X22000012	印影が取得できません。印影取得のためのメモリ確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
16	X22000013	印影が取得できません。印影ファイルのデコードに失敗しました。印影が壊れている可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
17	X22000014	印影が取得できません。接続終了処理中にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
18	X23000000	指定された印影がIC カード、もしくは証明書ストアから取得できませんでした。	IC カード、もしくは証明書ストアに指定された種類の印影が入っていません。
19	X23000001	印影上部に表示する文字列の情報の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
20	X23000002	印影下部に表示する文字列の情報の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
21	X23000003	印影の色の情報取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
22	X23000004	日付印の日付表示書式の情報取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。

23	X23000005	PDF ファイルから印影イメージが取得できませんでした。環境設定ファイルが壊れている可能性があります。	印影として PDF ファイルを指定した場合に、印影情報が PDF ファイルから取得できませんでした。
24	X24000000	メモリの確保に失敗しました。メモリが不足しています。	メモリ不足の可能性があります。
25	X24000001	ライブラリの読み込みに失敗しました。ライブラリが正しくセットアップされているか確認してください。	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。
26	X24000002	ライブラリのアクセスに失敗しました。ライブラリが正しくセットアップされているか確認してください。	ICカードドライバ、もしくは証明書ストアドライバのロードに失敗しました。
27	X24000003	アクセスの準備中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。	IC カードドライバ、証明書ストアドライバのロードに失敗しました。
28	X24000004	アクセスの準備中にエラーが発生しました。ライブラリや IC カードリーダーライターが正しくセットアップされているか確認してください。	①ライブラリや IC カードリーダーライターが正しくセットアップされていない可能性があります。 ②メモリ不足の可能性があります。
29	X24000005	アクセスの準備中にエラーが発生しました。スロット情報が取得できません。ライブラリや IC カードリーダーライターが正しくセットアップされているか確認してください。	①ライブラリや IC カードリーダーライターが正しくセットアップされていない可能性があります。 ②メモリ不足の可能性があります。
30	X24000006	IC カードとの接続に失敗しました。IC カードが正しく挿入されているか確認してください。	ICカードとの接続に失敗しました。
31	X24000007	ログインに失敗しました。パスワードが正しいか確認してください。	署名時のパスワードが違います。
32	X24000008	証明書管理メモリの確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
33	X24000009	証明書管理メモリの初期化に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。

34	X24000010	証明書が登録されていないため、証明書を取得することができませんでした。	IC カード、もしくは証明書ストアに証明書が登録されていません。
35	X24000011	証明書管理メモリの確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
36	X24000012	証明書管理メモリの操作中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
37	X24000013	署名用証明書の操作中にエラーが発生しました。署名用証明書を取得することができませんでした。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
38	X24000014	署名用証明書のサイズ取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
39	X24000015	署名用証明書の上位証明書の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
40	X24000016	上位 CA 証明書のセルフサインの判定に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
41	X24000017	証明書管理メモリ操作中にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
42	X24000018	署名作成のためのメモリ確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
43	X24000019	署名データの証明書情報追加に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。
44	X24000020	署名データへ加える上位証明書の検索時にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性があります。
45	X24000021	証明書のセルフサインの判定に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
46	X24000022	署名対象データの設定に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。	メモリ不足の可能性があります。

47	X24000023	署名データの作成に失敗しました。メモリ不足の可能性が あります。	①IC カードを差し替えた可能性が あります。 ②証明書ストアを変更した可能性が あります。 ③メモリ不足の可能性が あります。
48	X24000024	署名データへ上位 CA 証明書を追加する途中 でエラーが発生しました。メモリ不足の可能性が あります。	メモリ不足の可能性が あります。
49	X24000025	署名データへ上位 CA 証明書を追加する途中 でエラーが発生しました。メモリ不足の可能性が あります。	メモリ不足の可能性が あります。
50	X24000026	署名の終了処理中にエラーが発生しました。	メモリ不足の可能性が あります。
51	X24000027	署名データダミー領域の容量が不 充分です。	最大署名データサイズの設 定が小さい可能性が あります。
52	X24000028	署名用証明書の発行者名、シリアル番号の取得 に失敗しました。	メモリ不足の可能性が あります。
53	X24000029	署名用証明書の発行者名、シリアル番号のサイズ 取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性が あります。
54	X24000030	署名用証明書の上位 CA 証明書のサイズ取得 に失敗しました。	メモリ不足の可能性が あります。
55	X24000031	署名用証明書の上位ルート CA 証明書のサイズ 取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性が あります。
56	X24000032	自分の証明書のオブジェクトの取得に失敗しまし た。	メモリ不足の可能性が あります。
57	X24000033	ログイン終了処理中にエラーが発生しました。証 明書管理メモリの解放中にエラーがありました。	メモリ不足の可能性が あります。
58	X24000034	ログイン終了処理中にエラーが発生しました。証 明書管理メモリの解放中にエラーがありました。	メモリ不足の可能性が あります。

59	X24000035	ログイン終了処理中にエラーが発生しました。管理メモリの解放中にエラーがありました。	メモリ不足の可能性あります。
60	X24000036	メモリの確保に失敗しました。	メモリ不足の可能性あります。
61	X24000037	メモリの確保に失敗しました。	メモリ不足の可能性あります。
62	X24000038	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました(レジストリ情報の取得に失敗)。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
63	X24000039	環境設定情報の読み込みに失敗しました(レジストリキーが壊れています)。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
64	X24000040	ログ情報ファイル(署名対象データ)を開くことができませんでした。	メモリ不足の可能性あります。
65	X24000041	ログ情報ファイル(署名データ)を開くことができませんでした。	メモリ不足の可能性あります。
66	X24000042	署名アルゴリズムの設定に失敗しました。	メモリ不足の可能性あります。
67	I24000050	IC カードへのログインはキャンセルされました。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性あります。
68	X24000051	証明書が不正です(証明書から公開鍵情報が取得できません)。	証明書が無効の可能性あります。
69	X24000052	IC カードアクセスライブラリが不正です(C_GetFunctionList)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性あります。
70	X24000053	IC カードとの接続に失敗しました(C_OpenSession)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性あります。
71	X24000054	ICカードへのアクセス中にエラーが発生しました(C_FindObjectsInit)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性あります。
72	X24000055	ICカードのアクセス中にエラーが発生しました(C_FindObjects)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性あります。
73	X24000056	ICカードのアクセス中にエラーが発生しました(C_FindObjectsFinal)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性あります。

74	X24000057	ICカードから署名用証明書に対応する秘密鍵が見つかりませんでした。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性があります。
75	X24000058	ICカードのアクセス中にエラーが発生しました (C_GetTokenInfo)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性があります。
76	X24000060	ICカードのアクセス中にエラーが発生しました (C_SignInit)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性があります。
77	X24000061	ICカードのアクセス中にエラーが発生しました (C_Sign)。	ICカードへのアクセスライブラリが不正の可能性があります。
78	X2FFFFFFF0	署名のためのディスク容量が不足しています。ディスクの空き容量を確保して再度署名してください。	ディスク容量が不足しています。
79	X2FFFFFFF1	署名者情報入力画面の表示に失敗しました。閲覧しているWebサイトがInternet Explorerの信頼済みサイトに登録が行われているのか確認してください。	Internet Explorer の信頼済みサイトに閲覧している Web サイトの登録が行われていません。
80	X2FFFFFFF9	指定された印影データは壊れています。	印影データが壊れています。
81	X2FFFFFFFA	電子署名実施途中でエラーが発生しました。	署名実施途中でエラーが発生しました。
82	X2FFFFFFFB	印影の処理中にエラーが発生しました。正しい印影が入っているか確認してください。	証明書ストアの印影を利用する途中でエラーが発生しました。
83	X2FFFFFFFC	PDF 印影ファイルの処理中にエラーが発生しました。印影ファイルを確認してください。	PDFファイルを用いた印影の作成に失敗しました。
84	X2FFFFFFFD	署名情報収集途中でエラーが発生しました。	署名情報収集途中でエラーが発生しました。
85	X2FFFFFFFE	署名実施途中でエラーが発生しました。署名できません。	実施途中でエラーが発生しました。
86	X2FFFFFFF	メモリが不足しています。処理が続行出来ません。	メモリが不足しています。

2.3.3. SignedPDF 署名機能限定版 その他

NO	メッセージコード	メッセージ内容	原因
1	X40100000	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。
2	X40100001	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。環境設定ファイルを開くことができません。	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。
3	X40100002	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。レジストリ情報の取得に失敗しました。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
4	X40100003	環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。レジストリキーが壊れています。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
5	X40100004	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
6	X40100005	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。環境設定ファイルを開くことができません。	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。
7	X40100006	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。レジストリ情報の取得に失敗しました。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
8	X40100007	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。レジストリキーが壊れています。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
9	X40100008	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。メモリ不足です。	メモリ不足の可能性があります。
10	X41000011	署名フィールド名の取得に失敗しました。	メモリ不足の可能性があります。
11	X50100000	ラップライブラリ設定ファイルの読み込みに失敗しました。	ラップライブラリ設定ファイルの読み込みに失敗しました。

12	X50100001	ラッパライブラリ設定ファイルの読み込みに失敗しました。レジストリ情報の取得に失敗しました。	①レジストリ権限がない可能性があります。 ②レジストリ情報が壊れている可能性があります。
13	X50100002	ラッパライブラリ設定ファイルの書き込みに失敗しました。	①メモリ不足の可能性があります。 ②ラッパライブラリ設定ファイルのアクセス権限がない可能性があります。 ③ラッパライブラリ設定ファイルが壊れている可能性があります。
14	X50100003	ラッパライブラリ設定ファイルの書き込みに失敗しました。レジストリ情報の取得に失敗しました。	①レジストリ権限がない可能性があります。 ②レジストリ情報が壊れている可能性があります。
15	X50100004	ラッパライブラリ設定ファイルの書き込みに失敗しました。メモリ不足です。	メモリ不足の可能性があります。
16	XFF000000	レジストリ情報取得に失敗しました。正常にインストールされていない可能性があります。	レジストリ情報が壊れている可能性があります。
17	XFF000001	エラーメッセージファイルを開けません。正常にインストールされていない可能性があります。	エラーファイルが壊れている可能性があります。